



# ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和4年7月20日  
文責：校長 江上 知男



終業式で発表した代表児童(2年)

## コロナ禍に終わる1学期です！

7月20日(火)は、本校の終業式でした。県や町では7月に入ってコロナ感染者が激増し、本校もその影響を受けて、多くの子どもが出席できない状況になっています。終業式も、残念ながらリモートとなってしまいました。明日からは夏休みとなりますが、子どもたちはもちろんのこと保護者及び地域の皆様におかれましても、コロナ感染防止について引き続き取り組んでいただきますよう、よろしくお願いします。

さて、1学期を終えるにあたって、終業式では子どもたちに次の3つのお話をしました。

①嘉島西小の1年間のめあては「気付き、考え、行動する嘉島西っ子」です。この1学期の間、自分で気付いて、考えて、行動に結びつけている皆さんの姿をたくさん見ることができました。

- 運動会で、自分たちが決めたスローガンを達成しようと様々な場面で主体的に取り組む姿。
- 委員会活動で、自分たちで「企画書」を作り自分たちの学校を「明るく盛り上げよう」という姿。
- 人と会うたびに、「自分から、相手に聞こえる声で、相手の目を見て、誰とでも」挨拶する姿。
- 休み時間に、図書室やタブレットで知りたいことを調べたり、運動場で仲良くなるために遊んだりする姿。

この学校の主人公は、「皆さん一人ひとり」だと感じられ、とても嬉しくなりました。

②1学期で「嬉しかった」「できるようになった」と思えることがありましたか？担任の先生方はたくさん見つけてくださっています。通知表をもらったら、そこにしっかり読んでください。

- 歓迎遠足では、1年生と手をつないだり、言葉遣いに気を配ったり、優しさにあふれる行動を見せました。
- 男女分け隔てなく、友達が困っていれば声をかけ、ダメなことはダメと言える強さと優しさを持っています。
- おかしいと思うことは分かってもおうとします。相手を責めるのではなく、自分の言動も振り返ろうとします。

頑張ったことについて、自分を褒めてください。2学期は「頑張ったこと」をもっと増やしましょう。

③7月に入ってコロナ感染が拡大しました。教頭先生は、メールにこんなことを書かれました。

- コロナ感染の急拡大により、誰が流したか分からない情報やSNSなどの不確かな情報で多くの人が悩み苦しんでいます。このような人権問題がおこらないよう、ご理解とご協力をお願いします。

嘉島西小では、コロナに関して「無責任な言葉や行動で人を傷つける行動」は一つもありませんでした。みなさんに心からお礼を言います。みなさんありがとう。みなさんのことを誇りに思います。

## 2年生以上はタブレットを持ち帰っています！

別紙にてお知らせしておりますが、「夏休み期間を活用してタブレットの操作や機能に慣れ学校から出す学習課題や自主学習に取り組む」ことを目的として、2年生以上はタブレットを持ち帰っています(1年生の持ち帰りについては2学期以降に取り組みます)。今後、持ち帰りを通常のこととしていくための「お試し」です。どうか、保護者の皆様も子どもたちと一緒に直接さわっていただいて、「子どもたちがどのような学習に取り組もうとしているのか」確認いただければと思います。また、別紙に記載している注意事項もお子さんと一緒に確認いただければありがたいです。

タブレットの活用は、これからの時代を生きるために求められる資質・能力を高めるとともに、様々な環境においても「学びの保障」を行う手段として位置づけられています。本校としても「タブレット活用は当たり前」とする必要があります。ご不明な点があれば学校までお知らせください。

荒木PTA会長から、「休日を利用して、PTAやったげ隊が学校樹木の消毒をした」というお話を聞きました。やっただげ隊の皆様、本当にありがとうございます。子どもたちが安心して木に近づけます！